

## 職場で陽性者が発生、感染の可能性は？

### 感染可能期間

- 陽性者が有症状の場合 症状が発現した日の2日前 … 令和 年 月 日
- 陽性者が無症状の場合 検体を採取した日の2日前 … 令和 年 月 日

### 陽性者との接触

- 陽性者と最後に会った日 … 令和 年 月 日

感染可能期間中に会った

いいえ

感染する可能性低いです

↓ はい

↑ いいえ

感染可能期間中に以下の接触をしたか確認しましょう。

ひとつでも当てはまると「感染の可能性」があります。

- お互いにマスクなしで、手が触れる距離で15分以上会話した
  - 感染者がマスクを着用せず、手が触れる距離で15分以上会話した
- 例) 食事やおやつを会話しながら一緒に食べた、マスクを正しく着用していない等

↓ はい

## 上記に該当する方は感染の可能性ががあります

陽性者と最後に会った日から10日間は、健康観察を行うよう指示してください。  
検査を受けて陰性であったとしても、10日間の健康観察や外出自粛をお願いします。

- ✓ 1日2回、体温を測り健康状態を確認
- ✓ 仕事を含めた不要不急の外出は控えること
- ✓ 他の人との接触をしないようにすること 健康観察終了日 令和 年 月 日

↓ 該当する方へ

### ● 症状がある方はかかりつけ医にご相談ください

受診する際には、「陽性者と接触があった」ことを伝えてください。受診にかかる費用は受診する医療機関にご確認ください。

※かかりつけ医がない場合は、下記にご相談ください。

新型コロナウイルス専用健康相談窓口(078-322-6250)

### ● 症状のない方は

原則、陽性者と最後に会った日から10日間自宅待機をしていただき、毎日体温を測り、健康観察をお願いします。これに該当する方がおり、事業所所在地が神戸市内の場合、事業所内でとりまとめのうえ、神戸市保健所に連絡してください。PCR検査についてご案内します。神戸市保健所電話番号(078-322-6789)

# 「職場で陽性者が発生」その時どうする？

～新型コロナウイルス感染症への対応～

○このリーフレットは、職場で陽性者が発生したときに、事業者が行うことについてまとめたものです。

○ご一読いただき、いつ発生するかわからない事態に予め備えていただければ幸いです。

Q1 「職場の関係者から、新型コロナウイルス感染症と診断された」と連絡が来たら

A1 次の項目について、陽性者に確認してください。

- ◆ 陽性者に確認する事項
  - ✓ 検査日    ✓ 診断日    ✓ 発病（症状が出た）した日
  - ✓ 発病した2日前からの勤務状況を確認する。※無症状の方は検査日の2日前から
- ◆ 陽性者の机などの身の回りや、多くの人が触れる場所（ドアノブ等）、共有部分を消毒する。  
参考：厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/syoudoku_00001.html)
- ◆ 感染の可能性がある従業員や利用者等を確認する。

Q2 感染の可能性がある状況とは？

A2 次のような状況を参考にしてください。

- ◆ 陽性の診断を受けた人と、感染可能期間中（発病した2日前から入院や自宅等待機開始までの期間）に、**マスクをしないで（アゴにずらして）**会話をした人です。
- ◆ 目安は、「**対面で話す**」場合で距離は「**1メートル以内**」時間は「**15分以上**」です。
- ◆ このほか、「咳やくしゃみをしていた」「換気が悪かった」「大きな声を出した」場合は、感染リスクがより高かったと考えましょう。
- ◆ マスクを外して過ごす同居者（家族）は濃厚接触者に当てはまる人が多いです。

参考：国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2484-idsc/9357-2019-ncov-02.html>

Q3 陽性者にならないためには？

A3 次のことに注意しましょう。

陽性者や感染の可能性がある従業員が多数出ると、業務に影響を及ぼし、場合によっては一定期間休業せざる得なくなる場合が考えられます。このような事態にならないために、日ごろからの対策が重要です。以下の注意点を参考にしてください。

1. マスクは正しく常に着用
2. 換気の徹底
3. 手洗い（手指消毒）
4. オンライン会議やテレビ会議の推奨
5. 体調不良時は出勤しない
6. 食事中は黙食を徹底
7. 1日1回、不特定多数が触る部分の消毒

